

平成 28 年 5 月 16 日

5 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は間伐主体で順調。入荷量は増加しほぼ平年並みの水準。製材工場の丸太手当は依然弱いものの、一部に在庫を確保する動きもあり荷動きは好転の兆し。スギは柱材・中目材とも引合い低調ながらそこそこの荷動き。ヒノキは引合いが好転。丸太価格は製品需要の不振から長期に亘り弱含み展開だが、このところの入荷増にもかかわらず変動は軽微。スギは柱材が弱保合、中目材は小幅な下げで横這い。ヒノキは柱材・中目材とも下げ止まり、強保合に転じた。

群馬の製材工場の操業は角類中心に通常通り。連休前後は多少の荷動きがあったものの、製品市場は相変わらず荷動き悪く、地場の小売店も動き鈍い。プレカットは回復基調にあるが、5月受注は少なめ。製品在庫はスギ柱材を除き構造・羽柄とも全般に潤沢。原木の出材は国有林のシステム販売が始まり順調。丸太価格は製品の売行き不振で下落傾向。在庫は通常より多め。製品価格は全般に低位安定状態。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、出材が3月末より本格回復し港頭在庫を積増し中。ウエアハウザー社の5月積み対日米マツ価格は、前月積比一律\$10ダウン。加アルバータ州で大規模な山火事発生。3月の米材丸太の入荷量は317千 m^3 で久々の大量入荷、出荷量は190千 m^3 と低調だが、1-3累計では前年同期比横這い。在庫量は前月比大幅増で314千 m^3 。日本国内の大手米材工場は回復基調ながら想定より鈍い動き。

米製材品のTLT(東京木材埠頭)4月の入荷量は27千 m^3 (前月比3%減)、出荷量は29千 m^3 (同6%減)。在庫量は53千 m^3 (同3%減)。3月の米国住宅着工は年率1,089千戸で前月比9%減、特に集合住宅は同19%急落。ランダムレングス紙の4月末15種木材価格平均は、前月比10%アップ。現地価格は住宅着工が短期的に低水準にも拘らず依然底堅い動き。荷動きは4月もプレカットを中心に好調、先々も見積が増えている模様。先行き一定の仕事量はあると予想するが、円高傾向による大手メーカーの価格下げがどう影響するか不透明な展開。

3. 南洋材

サバは天候が良く出材は順調。他地域での原木出材減の影響で、サバに集中する状況は変わらず、相場は横這いから強保合の展開。製材品は一部の樹種で強含み。サラワクは伐採規制による原木の出材減が深刻で改善の兆し見えず。製材品も需要減と原木不足で低調な動き。PNG ソロモンは、ボルネオ島の出材減の影響で世界の需要が集まり相場は強気配。丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫は減少。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は逼迫感の無い市況続く。南洋材は現地の安定供給が懸念される中で、国内需要との関連で今後の相場展開は不透明。

4. 北洋材

シベリア地域は伐採地の奥地化により、例年通りの集荷が困難な状況で、先の見通しが立たない工場多い。丸太の品質も悪く、原盤メーカーは低グレード品が増加。富山新港の4月入荷量は丸太4千 m^3 、製品10千 m^3 。丸太在庫は全国で1.4ヶ月分。丸太価格はエゾマツ、カラマツ、アカマツいずれも保合。製材品は現地挽き、国内挽きともほぼ保合。荷動きは現地挽き3.0cm×4.0cmABグレード低調、国内挽きは高グレード品のみ好調、胴縁・ヌキは順調。国内の北洋材製材工場は不採算、稼働は通常操業、原料調達丸太が5月まで順調、原盤は低グレード品だが流れは順調。特殊・上級材の受注多いが一般材は低調。

5. 合板

原料丸太の国産材はスギ、カラマツとも供給に問題なく価格は横這い。ロシア材は良材の集荷困難だが価格は横這い。米材は供給に問題は無いが、ここに来て円高によりフレート分が値下がり、南洋材は日本向け良材の集荷困難で、引続き高値横這い。3月の国内合板総生産量26.9万 m^3 のうち、針葉樹合板は25.4万 m^3 で過去最高を記録、出荷量も23.8万 m^3 と高水準。在庫量は12.2万 m^3 で微増だが依然低水準。国産針葉樹合板の5月販売価格は横這いでスタート、需要は旺盛で混乱なく、今後の需要如何で値上がりも予想される。

国産針葉樹合板は一服感が漂っていた中で、最大手メーカーの火災発生により市場は一変、一時は玉確保のため混乱したが、現在は厚物を中心に不足感はあるものの落ち着いた状況。輸入合板は動き無く相場も下げ止まり、需給の調整が進みつつある。アイテムによっては品薄感漂う展開。先行き国産針葉樹合板は、大手メーカーの火災被害の復旧状況、現在の在庫量の推移、新設住宅着工数の変化などの要因から、今後品不足による混乱も予想される。輸入合板は徐々に需給調整が進む中で、為替変動による不透明感はあるものの、相

場の上昇とアイテムによっては不足感が出ることも考えられる。品薄品目は針葉樹合板全般、荷余り品目は特にない。

6. 構造用集成材

入港遅れによりラミナの在庫量は少なく、各メーカーとも WW ラミナの集荷は困難な状況。欧州との QTR3 ラミナ交渉では、為替変動を視野に価格アップを提示される模様。国産集成材は、WW 間柱のタイト感是一段落、WW 柱、RW 梁桁は入港減で受注が増加。販売は WW 柱、RW 梁桁とも納期は 3~4 週間と長い。先行き入港遅れが払拭されず、在庫は不安定。国内メーカーの忙しさは当分続く見通し。入港遅れでラミナ、製品とも在庫は少ない。WW 間柱、柱、RW 梁桁共にタイト感はあるが価格は据置き。輸入集成材は WW・RW とも若干下げ。ここにきて品薄の WW 柱から RW に切り替えるケースが増加。スギ集成柱は熊本地震の影響で m³当たり 2-3 千円の値上がり。

7. 木材チップ

チップ用原木は FIT 発電所と競合、背板も集荷が競合し入荷が減少。解体材は例年並みを確保。消費は製紙用に変化なく、燃料用は連休明けに大手製紙工場のボイラー修理で減少。在庫は横這いで推移。針葉樹チップ価格は横這い、輸入チップは為替変動で値下がり。国内チップ工場は原料の入荷状況、FIT の操業状況により工場間の稼働率に差がある状況。

8. 市売問屋

国産材の構造材は、4 月に一時動きが見られたがその後沈静。スギ・ヒノキとも連休明け後の期待はしにくい状況。造作材はスギ、ヒノキともリフォーム中心に小粒ながら順調な動き。建具材は時期的に一服感。外材の構造材は全般に動き鈍い。造作材はスプルー、米ヒバ良材の動き良好だが入荷少なく対応に苦慮。買方の市日来場者は依然少なく、一部の特殊材を除き模様眺めの状態。住宅着工は 3 月以降増加しているが、一部のハウスメーカーや大手プレカット需要に限定的。全体的に景況感が悪く先行き不透明。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガ角・平割とも保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。集成材は WW 柱、RW 梁、柱ともに保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカットの受注変わらず、価格は保

合。工務店は改築・リフォーム中心の受注に変化ない。熊本地震の影響か耐震診断、耐震改修の相談多い。

5月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	→
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
↘	→	↗	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	↘	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	↘	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↘
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ コースト	→
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	↘
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD)30×40 AB	→
			アカマツ(KD)15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	→
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	→
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	→
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	→
			型枠 12.0mm厚 3×6	→
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	→